

科目名	介護実習 I B 【介護福祉コース】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	江 口 賀 子・安 徳 弥 生・加 藤 稔 子						
開講年次	3	開講期	通年	単位数	4	必修・選択	必 修 (介護)
授業の概要 及びねらい	介護実習目的 介護実習施設で、学内で習得した基本的知識・技術を実践体験を行うことにより、理解を深め、統合する思考や理論化する能力を高め、具体的な介護の基本となる実践力を身につける。また、専門職としての職業倫理や自覚に基づいた行動を身につける。						
授業の 到達目標	介護実習 I B (1)・介護実習 I B (2) 1) 利用者一人ひとりの個性や生活リズムを尊重した介護の実践を理解する。 2) 利用者・家族とのコミュニケーションを通じた関わり方を学ぶ。 3) 基本的介護技術の確認と実践応用について学ぶ。 4) 個別ケアの意味を考える。 5) 障害のレベルに応じて求められる介護技術の運用について学ぶ。 6) 介護独自の業務について理解を深める。 7) 多職種協働の理解を深める。 8) 利用者理解のための情報収集の実際を学ぶ。 9) 福祉用具を活用した生活支援を体験する。 介護実習 I B (訪問) 1) 居宅介護事業の概要を理解する。 2) 訪問介護の実際を学ぶ。 * 『介護福祉実習指導要綱 (実習の展開の実習目標) による』						
学習方法	施設職員の指導のもとで生活支援の体験をする。実習日誌の記録やカンファレンスなどで指導を得て、また、教員の巡回指導を受け、学生間の情報交換などを通して学習する。自己学習も行う。						
テキスト及 び参考書等	「介護総合演習」他の関連領域の教科書・配布資料、辞典等。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他	◎	◎	◎	◎		100	
	「介護福祉実習評価」(実習施設職員)を基にして総合的に評価する。						
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
	介護実習 I B (1)……………2年次春季休業期間 10日間 地域密着型施設・認知症対応型共同生活介護施設・宅老所・デイサービスセンター・障害者支援施設・重症心身障害児施設・救護施設等 介護実習 I B (2)……………2年次春季休業期間 10日間 介護老人福祉施設・介護老人保健施設・地域密着型特別養護老人ホーム 介護実習 I B (訪問) ……3年次春季休業期間 5日間 訪問介護事業所 具体的な実習展開は、「介護福祉実習指導要綱」により行う。						
備考	【事前学習】 これまで取得した専門科目の復習を行う 【事後学習】 不明な点について調べ学習などを通して解決する 【その他】 心身の健康、実習中の事故防止、交通安全に細心の注意をする。						